

# 西和花卉部会での環境保全型農業 実践の取り組み事例(奈良県平群町)



## 西和花卉部会の概要

- 所在地: 奈良県生駒郡平群町
- 発足: 昭和57年4月
- 会員数: 149名
- 主な栽培作物: 小ギク(露地主体)
- 栽培面積: 約80ha 生産量約3,600万本
- 活動: 共選共販、品種指定、資材共同購入、生産技術の改善(造成農地での土づくり、育種、電照栽培など)



花卉部会の研修会

## キク生産における環境保全型農業の必要性について

### 他産地・輸入品との価格・品質競争

MPS (花き類生産・流通の環境も含めた総合的な認証プログラム制度) による環境にやさしい花き生産が実践された切り花が輸入されている  
国内でもエコファーマーが増加

### 県内キク産地の状況

防除作業の負担軽減の要望大  
産地での混住化が進行

### 生産者の意識

花は茎葉も商品、高品質が当然で厳しい防除水準  
花でのIPMは難しい

- ・小ギク生産の安定的維持のためにも、薬剤防除だけに頼らないIPMの実践が重要
- ・消費者にアピールできる環境に優しい小ギク生産技術の確立
- ・生産者が納得できる(得した感のある)環境保全型技術開発・導入が必要

## 奈良県平群町は全国有数の小ギク産地

200品種以上の作付け  
5月～12月の連続出荷  
露地栽培が主体



茎頂部を加害するオオタバコガ幼虫

近年、オオタバコガの被害が多発

お盆やお彼岸など出荷盛期には  
防除作業が困難  
慣行の薬剤散布では抑えきれない

オオタバコガ対策  
産地から強い要望

# 取り組みのポイント

## ネット被覆栽培を軸としたキクでのIPM

ココがお得！  
ネット被覆による遮光で品質アップ+省力化

オオタバコガ防除法として露地圃場全面ネット被覆栽培の導入  
結果的に殺虫剤散布回数は半減  
土着天敵の活動が活発化

## 減肥・生分解マルチ利用による環境負荷低減

ココがお得！  
肥料価格高騰の時代に対応+省力化

造成農地での慣行施肥 土壌診断に基づく施肥量決定  
無駄な成長を抑えて品質向上  
生分解性マルチ利用拡大

オオタバコガ対策として  
現地に導入されている  
様々なネットハウス



パイプハウス活用型



耐久型



超簡易型

奈良県農業総合センター開発

## ネットハウス導入を契機としたキクでのIPMへの展開

オオタバコガ対策としてネットハウスを導入



殺虫剤の散布回数が減少



ネットハウス内の土着天敵の活動活発化



土着天敵によるナミハダニ防除成功事例



技術確立に向けて  
食の安全・安心確保  
交付金事業で取組中  
(病害虫防除所・農業総合センター  
普及技術課・北部農林振興事務所・  
平群町・近畿大学)

## 生産物の扱われ方と今後の課題

- 産地としての取り組みをアピールすることも目的。直接の価格への反映はない
- ネット栽培周辺での土着天敵相・量の把握
- 最終的には農薬散布作業のない体系が目標
- IPM技術や環境保全型農業技術は押しつけでは導入困難。生産者にどうやって「お得感」を持ってもらうかが課題。あくまでも実施主体は生産者